



県議会

とちぎ自民党議員会報

緊急
特別号

県民の皆様へ

コロナ関連補正予算 総額676.9億円

【令和3年4月～9月分成立済み累計】

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が進んでいるものの、感染力が強いとされる変異株が猛威を振るい、急激に感染者が増加したところ。本県においても、急速な感染拡大により8月20日には「緊急事態宣言区域」に指定され、県民の不安が増加するとともに、家庭や事業所の収入が落ち込み、現在においても県内経済は極めて厳しい状況が続いています。

今まさに、「コロナ感染症の拡大防止」と「社会経済活動の維持」の両立という課題に取り組み、この未曾有の危機を乗り越えていく必要があります。

また、令和元年度東日本台風による災害からの復旧復興に取り組みながら、近年多発する自然災害に備えた国土強靱化対策を強力に推し進めていかなければなりません。

このような中、とちぎ自民党議員会は、栃木県議会第380回通常会議に当たり、60項目に及び「令和3年度9月補正予算に対する要望書」を福田富一栃木県知事に提出しました。

その結果、令和3年度9月補正予算として149億4,717万円(とちぎ自民党上乘せ13億3,000万円)の成立が見込まれます。私たち、とちぎ自民党議員会が特に重点的に要望した事項を中心にご報告します。

医療従事者の皆さまへ

コロナ感染症のリスクを抱えながら、日々患者さんの治療のために最前線で全力を捧げてくださる皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。皆様への感謝とともに、一日も早くコロナ感染症収束の日が来ることを願っています。



新型コロナウイルス感染症対策①

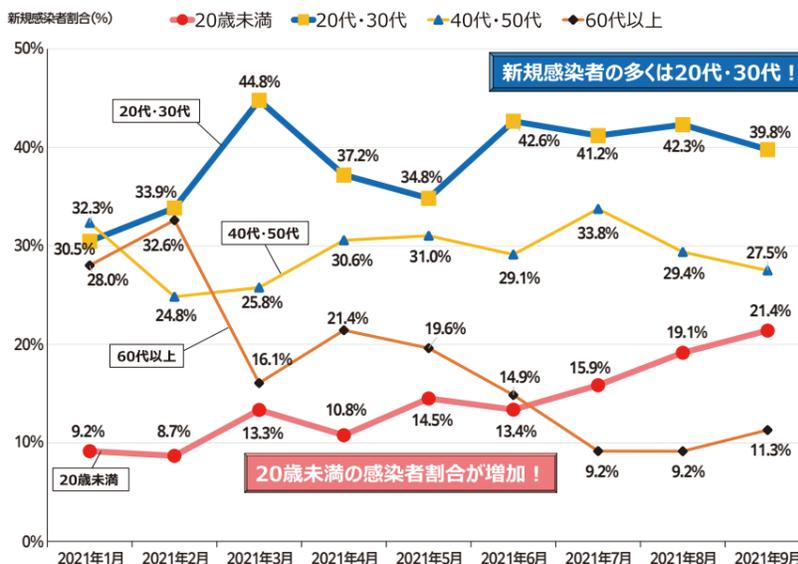
～コロナ感染症の拡大防止を図り、県民の命や生活を守ります～



本県の新型コロナウイルス感染者の療養状況について



最近の感染動向(年代別の新規感染者割合)



医療

とちぎ自民党議員会では、新規感染者を減らし、逼迫した医療現場が改善され、早期に県民が安心・安全で健康的な生活を営むことができるように、医療提供体制等の更なる強化を要望しました。



医療提供体制の強化

44.5億円

- ・受入医療機関に対する協力金(更なる病床の確保)
- ・医療従事者応援金

宿泊療養施設の確保

22億円

- ・施設の安定運営に係る経費(借上げ・運営経費)

これまでに予算化を実現した取組み

- ・自宅療養者への支援(健康観察、診療調整)
- ・ワクチン接種の促進(ワクチン接種の拡充、若者への接種促進)
- ・集団ワクチン接種会場の追加(新たに県内6か所、合計7か所)



ワクチン予約サイトは
こちら▶





新型コロナウイルス感染症対策②



農業



とちぎ自民党議員会では、コロナ感染症によって影響を受けている米農家や観光農園を支援するため、農産物の消費拡大に向けた要望を行いました。また、本県畜産の振興を図るため牛肉の輸出促進活動への支援とともに、豚熱発生に伴う出荷減少により経営に大きな影響を受けた「とちぎ食肉センター」について、経営改善に向けた支援を要望しました。

県産米消費拡大事業費 **1,500万円**

畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業費 **3,200万円**

とちぎの観光いちご園元気アップ対策事業費 **1,800万円**

食肉流通安定化対策事業費 **1億500万円**



経済



県内中小企業等への支援について

感染症対策及び新事業展開支援事業費

2億円

コロナ感染症の影響が長期化し、飲食店をはじめとする中小企業・小規模事業者は大変厳しい状況に直面しています。制度融資等により倒産件数は一定程度抑えられているものの、今後返済に苦慮することが想定されるため、事業者が事業継続をできるよう要望しました。また、このようなコロナ禍で厳しい経営状況にあっても、感染拡大の防止を図りながら、新事業を展開しようとする事業者に対して、支援を要望しました。



観光関連事業者への支援について

スマートワーケーション受入環境整備助成事業費 **5,500万円**

長引くコロナ感染症により、県内観光産業は甚大な影響を被っています。こうした中、県内観光需要の回復に向けて、コロナ収束後は、県民一家族一旅行推進事業を着実に実施するなど、観光関連事業者が事業を継続できるよう適切な支援を求め要望しました。また、ワーケーション受入のために宿泊業者が行う環境整備に対する支援を要望しました。



教育

県立学校ICT環境整備について

9.1億円

とちぎ自民党議員会では、GIGAスクール構想の実現や感染拡大等による臨時休校にも対応できるよう学習環境の充実に向けて、本県の県立高校生一人一台のタブレット配備を要望しました。



減災・防災対策

～災害に強い地域を目指します～



防災減災対策の推進について **52.4億円(うち調査費1.5億円)**

気候変動の影響による激甚化・頻発化する気象災害、切迫する大規模地震、並びに社会経済システムに悪影響を与えるインフラの老朽化等から県民の生命・財産を守るためにも、防災・減災対策の取組をなお一層推進する必要があります。

特に、令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえ、災害からの復旧復興を進めるとともに、流域全体の治水対策に積極的に取り組むことにより今後の災害リスクに備えること強く要望しました。

砂防堰堤における土石流対策について **6億円**

令和3年7月には静岡県熱海市において大規模な土石流災害が発生しました。県内においても同様な災害が発生する恐れがあることから、堆砂が進んでいる砂防堰堤において、堆積土除去を緊急的に実施し、その機能を早急に回復するよう予算の上乗せを要望しました。

農業施設の老朽化対策について **2,000万円**

農地・農業用施設は、農作物の安定生産や地域防災上非常に重要な役割をこなっていますが、農業用水路や揚水機などの農業水利用施設は、老朽化が進んでいることから、長寿命化等の対策を積極的に進めるべく要望しました。

安心安全対策

～災害に強い地域を目指します～



予期しない妊娠等に関する相談窓口(妊娠SOS)の設置について

400万円

とちぎ自民党議員会では、予期しない妊娠等について誰にも相談できず、一人で悩み問題を抱え、墮落分娩や乳児死亡等に至るケースを防ぐため、速やかに相談支援体制を整備するよう要望しました。

通学路の交通安全対策について

2億円

令和3年6月、千葉県八街市において児童の列にトラックが衝突する大変痛ましい事故が発生しました。こうした事故から児童等の安全を確保するため、即効性のある交通安全対策を実施するよう要望しました。

とちぎ国体に向けた道路整備について

3.5億円

来年開催予定である「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開催を見据え、会場周辺の渋滞対策や、来県者をおもてなしの心でお迎えし、本県のイメージアップにつながる道路整備を実施するよう要望しました。

高齢者への特殊詐欺対策について

コロナ禍における特殊詐欺の増加に伴い、被害者に占める高齢者の割合が高いことから、身近な相談相手のいない独居世帯やインターネットを利用しない高齢者に対する更なる防犯対策や被害防止に努めることを要望しました。

栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22
(自民党栃木県連)
TEL.028-622-4100
FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
(とちぎ自民党議員会)
TEL.028-623-3708
FAX.028-623-3725



本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から忌憚のない声をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

とちぎ自民党議員会

●とちぎ自民党ホームページ▶▶とちぎ自民党

